上小阿仁村教育委員会

点検・評価報告書

（令和７年度対象事業）

令和８年

上小阿仁村教育委員会

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅰ　点検・評価の趣旨、実施方法等

１．点検・評価の趣旨

上小阿仁村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の趣旨にのっとり、開かれた教育行政を推進するために、令和７年度事業について学識経験者の知見を活用した点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

この「点検・評価報告書」は、議会に提出するとともに、点検及び評価の内容に基づき、事業や施策の改善を図りながら、今後のより効率的で適正な事業の執行に資するものとします。

２．点検・評価の対象

令和７年度に実施している事業や施策のうち、教育委員会の年間活動状況と、総務学校班・生涯学習班の課題や目標として定めた事業について点検及び評価を行いました。事業の選定に当たっては、活動内容の精選に努め、重点項目として点　検・評価の対象としました。

３．学識経験者の知見の活用

上小阿仁村教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、「上小阿仁村教育委員会評価委員会」を設置しており、点検及び評価の客観性の確保に努めています。

４．点検・評価の実施方法

事業や施策の評価表に基づき、教育委員と事務局担当班等による事業や施策の検証と自己評価を実施するとともに、上小阿仁村教育委員会評価委員から意見及び評価をいただきました。

５．「報告書」の作成計画

①　教育委員会に関する事務の点検及び評価の内容について協議
②　教育委員及び事務局担当班等による事業と施策に対する自己評価
③　評価委員会において、意見・評価について協議
④　評価委員会の意見・評価を加えて、「報告書」を作成
⑤　教育委員会８月定例会で、「報告書」について議決
⑥　「報告書」を９月議会へ提出

Ⅱ　点検・評価の結果

１．教 育 委 員 会（教育委員会の点検・評価）

※　達成度について
A（達成している）　B（概ね達成している）　C（達成していない）　D（実施不能）

◎　教育委員会の活動状況

活動内容－１	総合教育会議・教育委員会会議の開催	達成度	A
点検・評価（課題等）	【総合教育会議】 村長と教育委員会が十分な意志疎通を図り、村の教育課題やあるべき姿を共有するよい機会であると感じている。また、子どもたちの現状や保護者の意見なども伝えることができ、大変有意義な時間である。 これまでの取組に関する振り返りや、今後の展望等についても意見が出し合える機会になれば、なおよいと思う。 【教育委員会会議】 月１回定期的に開催され、教育長より学校教育・幼児教育・社会教育・生涯学習関係の活動状況について詳細に報告を受けた。報告は大変分かりやすく、上小阿仁村ならではの活気あふれる取組が感じられる。 報告に対する質疑応答も丁寧に行われており、意見等も発言しやすい雰囲気である。 一方で、質疑応答等を話し合う時間が少なかったように感じる。		
評価委員の意見・評価等	【総合教育会議】 村の教育課題について方向性を共有し、重点的に講ずべき施策等について確認できたことは評価できる。教育に関係する人々の意見や現状を積極的に受け入れることで今後の展望にも期待がもてる。 【教育委員会会議】 上小阿仁ならではの活気あふれる取組は、教育長の丁寧な説明と報告、委員との共通認識の深さによるものと評価できる。		
活動内容－２	教育大綱と村の教育施策	達成度	
点検・評価（課題等）	前回の改訂から数年が経過し、教育の内容も変化していることから、今の時代に即したものを検討していく必要があるのではないかと考える。 国の動向や本村の実態等を吟味しながら、計画的に策定を進めていただきたい。		

評価委員の意見・評価等	社会状況や教育を取り巻く環境の変化に目を向け、地域の教育・学術・文化の振興に関する総合的な施策や根本方針を見直し、よりよい教育の推進に努めてほしい。		
活動内容－３	教育環境の整備と学校支援の推進	達成度	A
点検・評価（課題等）	子どもたち一人一人が、一台ずつタブレット端末を使用できる環境や、英語教育の充実など、十分な環境整備がなされていると感じている。また、子どもたちの成長を支えるための財政的支援はもちろん、ボランティアや生活サポートなどの人的な部分においても、十分な支援が行われている。 しかし、ボランティアの固定化・高齢化が進んでいるため、新規ボランティアの開拓が急務である。 村唯一の学校・保育園でもあるので、世代間交流や地域貢献の場のような地域に活力を生み出す活動を、現場と協議しながら増やしていただきたい。		
評価委員の意見・評価等	教育環境の物の整備については、財政面も含めて十分になされ、対外的にも誇れるものとなっている。生活サポートやＡＬＴ等の人的な支援も十分に行われている。 しかし、子どもの安全・安心の確保や郷土の文化を受け継ぐ活動等は、人口減少に伴い人的な環境が課題となっている。ボランティアの募集等も含めて、大胆な取組が必要である。		
活動内容－４	上小阿仁村「教育集会」の開催	達成度	A
点検・評価（課題等）	校長や園長からそれぞれの経営概要について詳細な説明があり、共通理解を深めることができた。年に一度、教育関係者が顔を合わせ、保・小中の年度の方針・重点等について共通理解を図ることは村の教育振興において大切である。さらに意見交換などグループワークの場があれば、より良いものになるのではないかと考える。 ぜひ、親睦を深める場も再開していただきたいと思う。		
評価委員の意見・評価等	教育関係者が一堂に会して共通理解を図る場として、これまで長く継続されてきたことは評価できる。形式的な集会とならないように、互いの意見交換の場を設けるなど、現場の教育に生かせる機会となるように、その都度内容を工夫して、今後も継続してほしい。		

活動内容－５	教育委員に係わる研修の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	福島県いわき市で開催された教育長・教育委員研修会では、東京大学大学院准教授や元大熊町教育長の講演を拝聴した。震災後の復興に向けての教育関係者の実体験に基づいた講演は大変興味深く、感銘を受けるものであった。また、大館市・北秋田市の教育長・教育委員との親睦を深める場もあり大変有意義な研修だった。 本事業は、教育委員としての見聞を広めるとともに、意識の向上と委員間の融和にもつながっている。		
評価委員の意見・評価等	充実した研修に加えて、他の教育関係者と情報交換し合える関係も構築されており、積極的に意見交換できたことは評価できる。		

◎　教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況

活 動 内 容	学校訪問等による教育状況の掌握と激励	達成度	A
点検・評価（課題等）	年に数回しかない訪問であるが、子どもたちの成長・変化を感じるとともに、先生方の努力と工夫、教育に関する熱意を感じる機会となっている。 今後も、少人数授業のよさを生かし、学力向上に向けてより一層きめ細かな指導をお願いしたい。同時に村・教育委員会が共に力を合わせ、よりよい環境づくりに協力していきたい。 中学を卒業した後も村のために活躍できる場がもっとたくさんあれば、さらに上小阿仁村が元気な村になるのではないかと考える。		
評価委員の意見・評価等	学校訪問により、教育活動の現状や課題を把握し、教育内容の充実と向上のために指導助言を行うことは、学力向上だけではなく、本村の子どもの心身の健全な成長のためにも必要である。加えて、教員の励みにもなり、教育現場と教育委員会の共通認識を確認できる場でもある。		

２．学 校 教 育（学校と事務局担当班の点検・評価）

※　達成度について
A（達成している）　B（概ね達成している）　C（達成していない）　D（実施不能）

（事業名）「特色ある教育活動」の推進

活動内容－１	郷土芸能の伝承活動（小３～中３）	達成度	A
点検・評価（課題等）	昨年度に引き続き、小沢田駒踊りと大林獅子踊りの２グループで、練習も例年に準じて時間を確保し、学校祭で披露した。小学校３年生から中学校３年生まで、居住地区に関係なく学年や男女のバランスを考慮して班編成を行っている。当面はこの方向性が妥当であると考えている。 指導に来ていただく保存会の皆様には、大変なご足労をかけながらも快く協力していただいた。お陰様で充実した活動となっている。また、地域コーディネーターには仲介役を担ってもらい助かった。 本活動は、児童生徒がふるさとへの想いを育みつつ、伝統文化を継承していくための大事な機会となっている。継続の方向で進めていくが、今後の維持を考えていくと、地域との協力体制を含め、持続可能な取組の模索が必要である。		
評価委員の意見・評価等	児童生徒の減少に加え、指導者の高齢化等、課題も多いが、持続可能な活動とすべく、工夫しながら進められている。伝承活動は、ふるさとへの想いを育てる大切な活動と捉えて継承してほしい。		
活動内容－２	農園・花壇活動（全校児童生徒）	達成度	A
点検・評価（課題等）	今年度も校務員補助の大沢さんと野外試作センターの大沢直仁さんに畑の肥料入れと耕起作業をしていただいた。耕起の際、野外試作センターの機械を入れていただくことで、時間と労力を大幅に短縮することができ、大変助かっている。次年度もぜひ協力をお願いしたい。畑は小学校の理科でのみ使用するため、２畝で十分だった。また、熊や小動物対策として、校務員さんに畑の周囲に柵を作っていただき、食害等を最小限にくい止めることができた。 畑は、来年度も理科用として、今年と同じ規模で耕起し、活用したい。ただし、学校農園は、熊の目撃と出没が多い上ノ岱と小沢田墓所に近いため、観察や水やり等の活動の際には、十分な注意が必要である。 今年度から、花壇活動は、小中合同で実施している。「人権の花運動」に久しぶりに参加し、人権擁護委員と村住民福祉課の協力を得ながら、小・中学生全員で花植え作業に取り組んだ。中学生が、		

	小学生に優しく声を掛けながら、協力して花植えや水やりを行う姿は「思いやりの心」を育む場であり、小中併設校のならではのよさである。草取りや水やりといった手入れは、主に中学生が担ってくれた。教科の時数を確保と暑さ対策のため、授業時間ではなく朝活動の時間に設定した。 「人権の花運動」は、次年度も継続して実施する予定である。		
評価委員の意見・評価等	花壇の活動を小中合同での実施にするなど併設校ならではの工夫が見られる。小中を通して育てたい思いやりや協力する心を大切にすると共に、関わってくれた人への感謝の気持ちもしっかりと育てたい。		
活動内容－３	宿泊体験学習（小４・小５）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○４・５年生【あきた白神体験センター（八峰町）１泊２日】 ７月２日（水）～３日（木）　４年３名、５年８名　計１１名 １日目は、午前中に留山を散策し、午後はシーカヤックと海水浴を楽しんだ。天候に恵まれ、波も穏やかであったため、シーカヤック・海水浴ともに海を存分に満喫することができた。夕食後は、体力面を考慮し、軽いナイトハイクを実施した。 ２日目は、朝から気温が高く、長袖・長ズボンが必須の里山ハイクは、熱中症の危険が高かったため、健康面を考慮して内容を変更し、体育館でミニテニスやバドミントンで汗を流した。 ここ数年、夏の猛暑が続いている。山に入る際は、虫除け対策として、体育着の長袖を着用しているが、生地が厚いため、夏場の着用には不向きである。長袖は必要だが、体育着ではない薄い生地の服等も検討し、児童の健康と安全第一で柔軟に対応していきたいと思う。		
評価委員の意見・評価等	この時期の宿泊体験は非常に貴重である。また、海辺の町の体験ができたことは大変貴重で、上小阿仁の子どもにとって大きな財産になると思う。 安全第一で引率された先生方にも感謝したい。		
活動内容－４	小学生本物体験	達成度	A
点検・評価（課題等）	○芸術鑑賞教室 例年、「秋田青少年劇場」の事業補助を活用して実施しているが、残念ながら、今年度は採択に至らなかった。 今年度は、北秋田市の阿仁地区出身のマサさんが所属するパントマイムコメディデュオ「ガベジ」に出演を依頼したところ、快く引き受けていただいた。		

	パントマイムによる公演は、誰にでも分かりやすく楽しむことができた。実際に児童生徒がパントマイム体験を行う場面もあり、集中して参加していた。後半は、児童生徒の質問に答えながら、同郷出身者であるマサさんのここまでに至る道のりや人生に対する考え方を聞くことができ、児童生徒にとっては、夢を実現することへの憧れが増したように感じられた。		
評価委員の意見・評価等	毎年のことながら、生の舞台を鑑賞できる教育環境が素晴らしいと思う。公演に加えて演者の生き方や考えを聞き、夢の実現への憧れが増したのも良かったと思う。		
活動内容－５	外から村を見る宿泊体験学習（中学生）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○１年生　男鹿市・秋田市での宿泊体験学習 １日目は、午前中に秋田朝日放送でのスタジオ見学、セリオンタワーの施設見学、午後は自衛隊秋田駐屯地での体験活動と施設見学、民俗芸能伝承館で竿燈体験、最後に赤レンガ郷土館にて施設説明を受けた。２日目は男鹿なまはげ館でなまはげ体験をし、秋田県立博物館では地域に関連する展示の解説を受けた。生徒たちは２日間、元気に過ごし、生徒同士のつながりも強まり、郷土に対する理解を深めるなど目標を達成することができた。今後は、キャリア教育の視点をもった活動を取り入れていきたい。 ○２年生　弘前市・北津軽郡での宿泊体験学習 １日目は、午前中にねぷた村で太鼓体験や津軽三味線演奏を楽しみ、民族工芸品製作の体験活動を行った。午後は弘前城周辺にて、班別自主研修を実施した。２日目は、弘前大学と板柳ふるさとセンターを訪問し、ガイドの案内を真剣に聞きながら立派な態度で見学することができた。地元ではできない様々な活動ができる貴重な機会となり、多くの体験ができたことがよかった。隣県もよいが、今後は県南エリアに目を向けることも秋田県を知る意味で大切かもしれないと考える。 ○３年生　東京方面への修学旅行 １日目は、東京ディズニーランドを訪問。園内のアトラクションを楽しんだり、レストランで食事を摂ったりしながら交友を深めた。２日目は、湯島天神にて合格祈願の後、班別自主研修を実施した。集合場所とした東京スカイツリーを見学した後、夕方からはプロ野球観戦、東京ドームシティ見学を楽しんだ。３日目は、国会議事堂見学、浅草散策を満喫した。そして、観光汽船隅田川クルージングで景観を楽しんだ。この修学旅行は、東京を中心とした首都圏の文		

	化に触れ、集団生活や社会のマナーを学びながら、学年の仲間たちと生涯の思い出に残る貴重なものとなった。 これらの活動は、村を離れた場所から村の未来について考える貴重な機会であり、生徒たちの意識も高まっている。意義深い取組として系統性をもって、今後も継続していきたい。		
評価委員の意見・評価等	学年が上がるにつれて、村外、県外、日本の首都と対象も工夫され、それぞれに貴重な体験がなされている。村を外から見ることで、村の良さを再認識し、村の未来を考える機会にもなっている。小学校高学年から中学生まで、全ての学年に宿泊体験が組み込まれているのは、子どもの成長への村の思いが感じられる。		
活動内容－6	中学生本物体験	達成度	A
点検・評価（課題等）	今年度の本物体験は、仙北市わらび劇場にて、午前中にシアターゲーム、午後に観劇「秋田には何もない」を鑑賞した。 シアターゲームとは、コミュニケーションを大切にする様々な活動が盛り込まれたもので、生徒たちは発信することや受け入れることの大切さを深く実感することができた。また、少し自己表現を苦手としている生徒も楽しみながら取り組むことができた。 観劇は秋田弁のよさを感じながら、ストーリーに引き込まれ、時間を忘れるほどの素晴らしい内容だった。舞台も凝っており、季節の移り変わりや朝夕の変化を照明や装飾で巧みに映し出していた。 移動時間が長いこと、小学校と一緒に行う芸術鑑賞教室と内容が重なる部分があるということが、次年度に向けた意見として職員から出された。しかしながら、このような素晴らしい劇団が県内にあることに誇りを感じ、その施設に出向き、本物の迫力を感じたり堪能したりする経験は生徒にとってかけがえのないものだと思う。是非とも継続していきたい。 次年度は、小坂町の康楽館での観劇鑑賞と、大館市の秋田犬の里等の施設見学を予定している。さらにその翌年は、秋田市のミルハスや県立美術館の施設見学を予定している。普段見ることのできない「もの」や「こと」を、仲間とともに味わう意義をこれからも大切にさせたい。		
評価委員の意見・評価等	年次計画により、在学中の３年間で様々な体験ができるのが素晴らしい。今年度は、本格的な観劇に加え、コミュニケーションを高めるためのシアターゲームも行われており貴重な体験となったと思う。		

活動内容－７	「ココロの授業」（道徳）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○「ココロの授業」（道徳） 中学校進学を控え、「心の準備」をして、スムーズに中学校生活をスタートさせることをねらいとし、大館市ファミリーネットワーク代表の村岡昇氏を講師に迎えて、6年生を対象に全2回実施した。 実施日時　２月　３日（火）１０：４５～１１：３０ ２月１９日（木）１０：４５～１１：３０ 授業では、「心のめがね」を題材に「心の充実と安心」が大切なことや、一人一人がかけがえのない大切な存在であることを、優しくにこやかな口調で子どもたちに語りかけながら授業を進めていただいた。温かい雰囲気に包み込まれながら、子どもたちは「ココロ」について学ぶことができた。 全2回の授業を通して、子どもたちは自分を見つめ直し、一人一人が中学校生活に対して前向きな気持ちをもつことができた。		
評価委員の意見・評価等	ココロの授業では、一人一人全員がかけがえのない存在であるということを教えてくれる。授業を機に自分を見つめ直し、自分の大切さに気付かせてくれるという点で有意義であると考える。		
活動内容－８	先輩に学ぶ集会（中学生）	達成度	A
点検・評価（課題等）	今年度は、上小阿仁中学校出身で、現在、東北電力ネットワーク株式会社大曲電力センターで勤務している原田さゆりさんを講師として招き、ご講話いただいた。 原田さんは、本校卒業後に秋田市内の高校に進学し、「高校生ものづくりコンテスト」において、東北大会や全国大会に出場した素晴らしい経歴をもっている。その技能のほか、高校での学びを生かして現在、社会で活躍している。 その原田さんが、成功体験だけでなく、挫折した過去も含めて話をしたり、パワーポイント資料で分かりやすく提示したりしてくれた。生徒たちは、年齢が近く、地元出身の先輩ということで親近感を感じながら聞いていた。我々教員にとっても、本校卒業生の立派な姿に力をもらうことができた。社会に出て働くことの意味を力強く語り、働きながら地域貢献を担っていることに触れるなど、充実した内容と思いの込もった語り口調に若い方の力と熱意を感じた。 次に生かすための反省として、「他校の例を参考にしてみたい」「社会人から学ぶ会と考えると、卒業生にとらわれなくてもよい」といった意見が出された。講師の選定に関しては、今年度同様、在校生		

	にとって意義のあるものを探って依頼していきたい。		
評価委員の意見・評価等	先輩の話を聞いて、自分の生き方を考える貴重な体験だと思う。講師については、その都度検討しながら、継続してほしい。		
活動内容－９	イングリッシュキャンプ（中学生）	達成度	A
点検・評価（課題等）	第１０回目となるイングリッシュキャンプを、２年ぶりに宿泊を伴って実施することができた。当日は他校から４名のＡＬＴにご協力いただき、それぞれが準備してくれた多彩な活動のおかげで、生徒たちは楽しみながら、異文化理解や実践的なコミュニケーション能力の育成につながる貴重な体験をすることができた。会場としてコアニティーという村の施設を活用させていただくことで、様々な教育活動を展開することができた。この恵まれた教育環境に大変感謝している。 英語漬けの時間を過ごし、自分の思いを英語でのみ表現し、「英語にどっぷりつかる」という環境が、大きな刺激を与え、英語への抵抗感を和らげてもいる。学びを得て英語の学習に対する、さらに前向きな姿勢が生徒たちから窺えた。 本校の英語科教員のほか、ＮＥＴとＡＬＴの尽力によって毎年行えているが、日程調整や外部とのやり取りは大きな負担となっていることも否めない。大変意義深い取組であるがゆえ、今後も持続可能なものとしていくために時期や内容の見直しも必要となってくる。		
評価委員の意見・評価等	村の施設を利用しながら、宿泊を伴うキャンプができたことは有意義であった。本村のようにＮＥＴ・ＡＬＴを配置できる環境は他校にはないもので、本村の生徒の英語力が高いのも納得できる。今後とも続けてほしい。		
活動内容－10	インターナショナルデー（小学生）	達成度	A
点検・評価（課題等）	本事業は、今年度で８回目を迎えた。これまで２０か国のゲストティーチャーに参加していただいている。「外国語への興味・関心を高める」ことをねらいとして、内容のアップデートを毎年図りながら実施している。 講師の先生方とさらに親睦を深められるよう、今年度は、給食時間から各学級に入っていただいた。栄養教諭の先生に協力いただき、講師の出身国ゆかりのメニューを給食に提供していただき、さらに楽しく会食することができた。 ワークショップでは、タンザニアの衣装や文化についての体験と講話、ジャマイカのブレスレット作り、カナダのダンス、オーストラリアのフレンチクリケットなど、５人の講師の出身国にちなんだ		

	活動に一緒に取り組み、交流を深めることができた。また、初めての試みとして、日本の昔遊びを講師の先生方に教え、一緒に楽しむというワークショップも実施した。花いちもんめや折り紙、おはじきといった昔遊びを一緒に楽しみ、講師の先生方にも大変好評であった。恒例のフリートークの時間には、講師の先生方との生きた英会話を楽しむことができた。事業継続の効果が、楽しみながら積極的に活動に取り組む高学年の姿に表れている。 本事業は、ＮＥＴのオーエン先生の尽力によるところが大きい。今回もＡＬＴやＣＩＲへの事前連絡をしていただいたおかげで、講師依頼もスムーズに進めることができた。様々な国の方と交流できるようにとの配慮の下、毎年講師の人選をしていただいている。また、活動内容についての打合せもオーエン先生を介して、講師の先生方とメールで細かな部分まで進めることができた。
評価委員の意見・評価等	様々な国の人や文化に触れる良い機会となっている。外国や英語への関心も高まり、中学校へと繋がっていく大切な活動となっている。ＮＥＴのオーエン先生には感謝したい。

（事業名）学校運営協議会制度

活動内容	学校運営協議会の運営	達成度	A
点検・評価（課題等）	○第１回学校運営協議会（５月２２日） ・学校運営協議会委員の任命が行われた。（教育委員会） ・学校運営協議会委員による小中学校授業参観を行った。 ・令和７年度の学校経営方針について校長が説明した。 （※現在、学校経営グランドデザイン等は検討している旨を伝えた。） ・学校運営協議会規約の確認を行った。 ・質疑応答と学校経営方針の承認を行った。 ○第２回学校運営協議会（１０月１５日） ・学校運営協議会委員による小中学校授業参観を行った。 ・学校経営構想の最上位に「ウェルビーイングな学校の実現」を掲げたこと、学校評価関係を改革したことから、学校経営構想について説明した。 ・前期の経営反省を基に学校経営評価等について熟議した。 ○第３回学校運営協議会（２月５日） ・学校運営協議会委員による小中学校授業参観を行った。 ・新たな学校経営構想の概要と進捗状況について説明した。 ・後期の経営反省を基に学校経営評価等について熟議した。 ・学校運営協議会規約の確認を行った（守秘義務、任期）。		

	学校運営協議会のメンバーは令和６年度から継続の２年目となり、「委員の方々がそれぞれのお立場で学校経営に参画していく」という、本協議会の趣旨を十分にご理解していただきながら尽力していただいていた。 学校としても、村教育委員会や地域コーディネーターのコーディネートのおかげで、村の教育資源（もの、ひと、こと）を活用して学ぶ機会が充実している。また、本協議会の際には学校経営構想や学校状況について、客観的な視点でご意見等をいただく大切な機会となった。 次年度は委員改選の年になるが、本協議会の趣旨をご理解していただきながら、学校が地域のウェルビーイングの向上を目指して学校経営を推進することができるよう、全ての委員の方々との連携・協働を図っていきたい。また、学校を共につくり上げていくという要素をさらに強くしていきたいと考えている。
評価委員の意見・評価等	学校運営の基本方針の承認、運営や人事に関する意見等々、地域住民や保護者が一定の権限をもって学校運営に参画できるよう、少しずつ工夫して、学校運営協議会の本来の姿に近付けてほしい。

（事業名）地域学校協働本部事業

活動内容	地域の人材活用と教育活動・交流の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	例年通り年間を通して地域支援コーディネーターと連携し、地域ボランティアの方の協力を得ることができた。 ○小学校で地域ボランティアの方に協力してもらった活動 ・クラブ活動（卓球、ユニカール、ＷＡロック制作、フラワーアレンジメント）、田んぼの活動、農園活動 ・スキー指導（アルペン、クロスカントリー） ○中学校で地域ボランティアの方に協力してもらった活動 ・家庭科：和服着付け指導 ・万灯火参加に向けたダンポの制作（夏休み） →小沢田壮和会 ※ふるさとフェスティバルに参加 ○小中学校で保存会の方に協力してもらった活動 郷土芸能（小沢田駒踊り、大林獅子踊り） ※詳細は「郷土芸能の伝承活動」に記載 今年度は、かみこあに大学と連携し、互いの学びの場を広げる活		

	動を実施することができた。今後も活動を広げ、地域交流を充実させていきたい。 ・家庭科（中学校）… ９月、消費生活学習のまとめとして、生徒が講師となり「特殊詐欺防止教室」を開いて、注意を呼び掛けた。 終了後は、かみこあに大学生と「学校生活について」の意見交流を行った。 ２月には、かみこあに大学の学生が来校し、卒業式や入学式で使用する花飾りを中学校３年生と一緒に製作した。活動後は、中学生の授業の様子を参観していただき、最後に給食の時間も共に過ごし、おいしくいただきながら親交を深めることもできた。 地域の方の専門知識や経験が児童生徒の学びを豊かにするとともに、多様な世代と関わることでコミュニケーション力が向上し、感謝の気持ちや礼儀を学ぶ機会にもなっている。
評価委員の意見・評価等	人材活用が有効になされ、地域の力を十分に教育活動に取り入れることができている。活動だけではなく、関わった人への感謝の気持ちも、これまでと同様に大切にしていってほしい。

（事業名）学校生活サポート事業

活動内容	生活サポート員の配置と指導の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	小学校に４名、中学校に１名の配置をいただいた。小学校は、２・４・５・６年生の各学級において、生活支援を必要とする対象児童８名と特別支援学級児童１名の支援に入っている。よい生活習慣や学習習慣が身に付くよう、児童一人一人の実態に合わせたきめ細かな支援をお願いしている。今年度は、将来の自立に向けて一人一人がもつ「困り感」を大切にし、できるだけ自分の力で物事に取り組むことができるよう、目は配りながらも手を掛けすぎない支援をお願いしている。教員とサポート員が綿密に打合せを行い、指導に対して共通理解を図ることで、子どもたちの確かな成長を実感している。 また、みどりタイムや昼休みの子どもたちの様子をグラウンドや体育館、ホールの持ち場に分かれて教員とともに見守ってもらい、適宜声掛けをしてもらったり、気になることがあれば担任にすぐ知らせてもらったりと、その場での指導に繋げる体制を整えている。特に、今年度は子どもたちが外で安心して活動できるよう、害獣対策のための見守りを強化したが、サポート員の方の協力のおかげで安全を確保することができた。		

評価委員の意見・評価等	児童生徒の実態に合わせて適切なサポートができている。他校にはない充実したサポート体制で、子どもの成長を支え、保護者の信頼も増していると考える。獣害対策の見守りもありがたい。

（事業名）外国青年招致事業

活動内容	ＮＥＴやＡＬＴを活用した小中学校の外国語活動や英語指導、国際理解教育等の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	上小阿仁小中学校の特色ある教育活動の大きな一つに「英語教育の充実」が挙げられる。特にＮＥＴのコーディネートで保育園から英語に触れ、小学校から中学校へと学びを深めながら育んできた語学力やコミュニケーション能力は誰もが絶賛する力となっており、「上小阿仁ブランド」の一つになっている。 各種学力調査や英語検定で優れた成果を収めている背景には、ＮＥＴ及びＡＬＴの多大な貢献がある。また、通常の授業にとどまらず、英語検定に向けた事前指導やスピーチコンテストに向けた指導といった自主的な取組を通じて、本校の児童生徒の英語力向上に大きく寄与している。さらに、本校独自の「中：イングリッシュキャンプ（ＡＬＴ担当）」や「小：インターナショナルデー（ＮＥＴ担当）」の企画・運営のほとんどを担っている。今年度は、小学校で阿仁学園と交流を行った。英語教育の更なる充実を図る上で２名のネイティブスピーカーの存在は欠かせないと考えている。今後も学校全体でグローバルな学びを推進していきたい。		
評価委員の意見・評価等	ＮＥＴ・ＡＬＴの効果的な活用により、外国語活動や英語指導、国際理解教育等の充実が図られている。村を挙げた英語力向上推進が見て取れる。		

（事業名）低学年における指導者を要請した水泳指導の充実

活動内容	小学校１～３年生対象の水泳教室の開催	達成度	A
点検・評価（課題等）	北秋田市民プール指導員を講師に迎えて、開催することができた。 実施日時　７月２４日（木）１０：００～１２：１５ ７月２５日（金）１０：００～１２：１０ 今年度は小学校１～４年生を対象として開催した。対象児童２２名中１１名（１年生２名、２年生５名、３年生２名、４年生２名）の申込みがあり、二日間にわたって、指導員４名の指導の下、泳力に合わせたクラス編成で指導していただいた。水に慣れ親しみなが		

	ら、水泳技術を向上させることができた。夏休みに入るタイミングでの実施により、技術も意欲も向上し、積極的にプールに足を運ぶきっかけとなっている。今後もぜひ実施をお願いしたい。 貴重な機会であるので、学校からも積極的な参加を呼び掛けていきたい。
評価委員の意見・評価等	指導員を迎えての水泳教室は貴重な機会と捉えられる。水泳技術の向上に加えて、夏休み中のプール利用のための安全指導の面からも、良い時期に実施できている。

（事業名）校舎等改修補修工事事業

活動内容	校舎の改修工事等による安全で快適な学習・生活環境の整備	達成度	B
点検・評価（課題等）	○教職員と児童生徒のタブレットが２学期に更新され、１月からは完全に切り替わった。また、９月からＩＣＴ支援員（東光コンピュータサービス）が、週に３日間（半日：２日、終日：１日）常駐する体制が整い、校内のＩＣＴ環境が大きく向上した。授業支援や相談に加え、機器トラブルへの対応等、きめ細かに対応していただき、教職員にとって非常に心強い存在となっている。 ○校舎全体の環境整備については、大きなところで、校舎東側の屋根の修繕、体育館渡り廊下修繕、電話機の回線工事と機種変更に対応していただいた。その他に突発的な小破修繕に関しても可能なかぎり素早く対応していただいた。体育館の床板の剥がれに関しては、再点検と確実な修繕をお願いしたい。 ○体育館前の防火扉は普段から閉めるようにと、消防署分署の方から指導を受けている。平常時は体育館への行き来をする児童生徒の安全確保のため、半分開けている状態である。職員の退勤時には閉めて万一に備えている。 ○各教室のストーブを計画的にメンテナンスしていただいているが、耐用年数を大幅に超えており、故障時の部品調達が難しくなってきている。被服室のストーブは、部品がなく修理不可能のため、ブルーヒーターで代用している。今後、ストーブの故障が頻発することが予想されるため、早めの更新をお願いしたい。		
評価委員の意見・評価等	児童生徒の安心・安全と、よりより学習環境の構築に向けて、計画的に整備されていると思う。教育の質が落ちないように、改善や修繕が今後も速やかに行われることを願う。		

３．幼児教育（保育園と事務局担当班の点検･評価）

※　達成度について
A（達成している）　B（概ね達成している）　C（達成していない）　D（実施不能）

（事業名）各種行事について（活動状況）

活動内容－１	園内行事１…毎月定例の行事	達成度	A
点検・評価（課題等）	○園安全日、清掃日、防災訓練、誕生会等 今年度も毎月の定例行事に関しては、担当者を決め計画的に実施できた。 誕生会では、園児数の減少が影響してか該当園児がいない月が昨年同様２回もあり残念であった。令和５年度からの誕生日絵本プレゼントも昨年と同様に誕生会で行っている。今年の安全教育は交通安全をテーマに村交通安全母の会の皆さんの協力でクイズを交えた楽しいお話を聞くことができた。 防災訓練では今年も、消防署立会いの下で避難訓練を２回実施したほか、大雨や雪の季節に心掛けることについての注意喚起も数回実施した。		
評価委員の意見・評価等	村交通安全母の会の皆さんの協力で行われたクイズを交えた交通安全のお話は、楽しく学べて自らの危険行動を回避できる能力を身に付けていくことに効果があるものと思う。防災訓練では近年多発する自然災害から身を守るため、大雨や雪の季節に心掛けることの注意喚起の繰り返しは評価できる。		
活動内容－２	園内行事２…毎年恒例の行事	達成度	A
点検・評価（課題等）	○個人面談やフリー参観 ○すこやか学習会 ○七夕まつり ○お泊まり保育 ○運動会 ○保育発表会 ○保育参観日 個人面談２回、フリー参観２回は予定どおり実施することができた。フリー参観には昨年同様に多くの保護者が参加された。また。すこやか学習会は２歳以上のクラスと０～１歳児に分けてそれぞれに別の講師を招いて行い全員参加が可能となった（音楽療法士とミュージックケア講師)。大きいクラスの子たちは、初めて見たり触ったりする各種の楽器に興味津々だった。 星まつりを改名して実施した、３回目の七夕まつりも猛暑を避け屋内で実施した。新園舎で２回目なので昨年の反省を活かして縁日コーナーの配置を工夫しよりスムーズな動線が確保できた。ホールにエアコンが設置されたこ		

	とで第２部の「七夕を楽しもう」も快適な環境でできた。数年ぶりにバザーが復活し昨年より盛大な感じがした、何より家族の方々に喜んでもらえた。 お泊り保育は、昨年同様に車両を使って村外に出掛けることを避け村内での開催とした。金曜日の午後に道の駅かみこあにで買い物をしてお金を自ら支払うことを体験した。開催日が１０月だったので、夕方に山ふじ温泉を利用した。これも保護者に頼らないで行った貴重な体験であった。 昨年、好天に恵まれ村民グラウンドで行った運動会だが、先駆けて開催した保護者会役員会では､今春から出没が続くクマ対策が協議の中心となった。そして天候に関係なくトレーニングセンターで開催となり実施された。屋内であっても屋外とあまり遜色なくやれた気がする。 保育発表会は真冬の寒さを避けて１１月に実施するようになって２回目である。祖父母には足腰の悪い方が見受けられるので、イス席を昨年度より増やす対応をとった。 保育参観は、前半に普段の保育の様子を見てもらい、後半は外部から講師ではなく当園の大沢明日香先生によるミュージックケアを実施し、保護者を巻き込んで大いに盛り上がった。 年間を通して言えるのは、親子参加の行事は、普段、家庭において見ることがない子どもの姿を垣間見ることができ、保護者や家族には成長の喜びを感じてもらえているのではないかと捉えている。		
評価委員の意見・評価等	前年度の反省や熊対策など細やかに配慮された行事は、園児・保護者にとって良い思い出になる。外部講師に頼らないミュージックケアは、日頃のセッションの積み重ねがないと成功しないものである。大いに盛り上がったということは日々の努力の成果だと思う。職員と保護者・園児が年間の行事を通じて、コミュニケーションを図ることで良好な信頼関係が構築されていると評価できる。		
活動内容－３	園外行事…園外へ出て実施する主な行事	達成度	A
点検・評価（課題等）	○秋の収穫祭 昨年から新園舎の中庭につくった畑にさつまいもを植えている。今年も同様にみんなで植えた。秋の芋ほりを「収穫祭」と改名して行った。今年はサイズが小さかったが、芋ほり自体はいつもどおり盛り上がった。終了後に食べた家庭で用意したお弁当やおやつに子どもたちは大喜びであった。 掘ったいもは､村の食生活改善推進委員が開いてくれたクッキング教室で、ゆり組の子どもたちが「さつまいもとりんごの茶巾」を作った。おかげで食育に繋げることができた。		

評価委員の意見・評価等	自らの手で苗を植え、育てたサツマイモを収穫する体験は、自然と触れ合いながら食べ物に興味をもたせる良い取組である。収穫したサツマイモを食生活改善推進委員会とも交流して調理し、食べることで「食育に関する正しい知識と食生活を育む力」を養えていると思う。園外行事では食育に繋げることができたと評価できているので目的は達成できている。

（事業名）保小連携について

活動内容－１	幼児児童の直接交流	達成度	A
点検・評価（課題等）	小学校と保育園の職員が日頃から情報交換を行い、相互理解を図るため、そして年長児と小学生の交流を計画的に行い、小学校生活へのスムーズな移行を図ることなどを目的に「小学校との連携に関する計画」を立て実践した。 先生同士が互いに学校、保育園に出掛けて授業や保育に参加する活動も行った。今回、小学校教諭の保育園訪問を数日に渡って実施して全教諭が参加した。 ゆり組園児が小学１年生と２月になかよし交流会を行った。小学生は自信をもつことができ、また年長児は小学生になる心構えをもつきっかけとなった。 残念ながら、小学１年生のお里帰り訪問（保育園で）は実施できなかった。		
評価委員の意見・評価等	小学校との連携に関する計画を立てて実践していることで、小学校・保育園の連携に良好な結果が出ていることは評価できる。今後も継続をお願いしたい。		
活動内容－２	職員の研修と交流	達成度	A
点検・評価（課題等）	○職員研修 ○情報交換 職員の研修は、年度当初に県教委から届く研修メニューの中から選択して年間のスケジュールを組んでいるが。今年はプラスして医療的ケア児受け入れに向けた研修を数多く実施したほか、消防分署から救急救命士を講師に招き園児体調不良時の初期対応について､エピペンの使用方法を含め学習した。 オンラインによる「秋田県保育士等キャリアアップ研修」については３名が受講した。いずれも１５時間の研修で２日を要する為、勤務のシフトに皆が協力して時間を捻出して行った。 園内情報共有では、昨年から実施している短時間のミーティングを毎朝実施し記録ノートを作成して欠席者や参加していない保育補助の人にも要点を伝える事を引き続き行っている。		

評価委員の意見・評価等	研修に参加する事で職員同士の交流が生まれ、保育に係る知識やアイデア・アドバイスをもらったりする人間関係も構築される。インプットするだけでなくアウトプットすることで、知識は根付き研修内容を職員と共有し、知識や技術を伸ばす努力や創意工夫がされている。また、医療的ケア児受け入れに向けた研修も評価できる。

（事業名）地域の人材を活用した保育の充実

活動内容	外部から講師を招いての活動	達成度	A
点検・評価（課題等）	○英語で遊ぼう ○絵本読み聞かせ ○上小阿仁村食生活改善推進委員との交流（クッキング教室） ○村婦人会との交流（交通安全教室） 今年度も主に村内在住の方々を講師に依頼し実施した。 「英語で遊ぼう」は、年長組のみならず年中組も参加しており、小さい頃から英語に触れたり、外国人と触れ合うことは他国の文化に触れることにも繋がり貴重な経験となっている。学校からオーエン先生を派遣していただいているため、年長児が小学校に入学した際には、顔見知りの先生がいるという安心感にも繋がっている。今年は教育長からの呼び掛けもあり月曜日に限られていた実施日を別の曜日に変更してもらえた週がいくつもあった。 婦人会との交流では、交通安全教室を実施していただいた。原田前園長がメインでクイズ形式による楽しい教室であった。		
評価委員の意見・評価等	専門の知識をもった外部講師の指導により、園児たちに楽しく学ばせ、学習することで新たな発見に繋がり、今後の保育に生かすことができると考える。良い取組であると評価できる。		

（事業名）環境整備について

活動内容－１	新型コロナウイルス感染症対策	達成度	A
点検・評価（課題等）	結果として令和６年度に引き続き、子どもたちは２年連続で感染者は０人であった。油断することなく、基本的な感染症対策として、手洗いうがいの励行は継続していく。		
評価委員の意見・評価等	集団生活なので、感染症対策は重要である。正しい手洗い・うがいを習慣付けるよう指導し、意識を高める感染症対策を実施しているのは評価できる。		

活動内容－２	建物や設備に関する整備	達成度	B
点検・評価 （課題等）	昨年に続いて大雪で、ホールの屋根からコアニティー側に落ちた雪が窓の高さを超える事態となった。２年連続の現象なのでホールに何らかの雪対策が必要である。 園庭にネットフェンスを設置して道路への飛び出し防止につとめた。フェンスの延長や中庭にも設置できればと考え、新年度に向けて残予算で３セットを購入済みである。		
評価委員の 意見・評価等	２年連続ホールの屋根からの落雪が窓の高さを超えたことについては、対策が必要と思われる。園児は思いもよらぬ行動をとるので危険から園児を守るため、未然に防ぐ方策と事故が起こる可能性があることを想定し、日常的に職員全員で危険予知の意識を高めることが事故を防ぐことに繋がると考える。		

４．社 会 教 育（社会教育委員と事務局担当班の点検・評価）

※　達成度について
A（達成している）　B（概ね達成している）　C（達成していない）　D（実施不能）

（事業名）生涯各期の活動の推進

活動内容－１	地域での青少年活動事業の推進	達成度	B
点検・評価 （課題等）	○かみこあに大学での保育園、小中学生との交流事業 ○スポーツ少年団との共催事業（総合交歓会） ○ミニかまくらづくり（観光協会と共催） 少子化の影響により、学校以外で子どもが集って遊ぶことが少なく、地域での青少年活動が困難になってきている。公民館行事として、子どもが集う場を提供した。 ○小中学生対象のかみこあに防災子どもキャンプ（参加者おらず中止） 今年度も防災子どもキャンプを開催する予定であったが、小中学生の他行事や大会と重なり参加申込みがなく中止となった。来年度以降、時期や内容について考慮し開催していく。		
評価委員の 意見・評価等	一部中止となった事業もあったが、人的資源の少ない中、スポーツ少年団や観光協会との共催等の手法により事業を概ね遂行できたことは評価できる。		
活動内容－２	公民館行事への青年・成人層の参加促進	達成度	A
点検・評価 （課題等）	○公民館事業一覧（Ｐ２９）参照 ○公民館事業での青年層の活躍 青年層の方が少なく忙しいことから、各種委員の構成員に入ってもらうのが難しくなっている。 青年層の方にも委員等に参加してもらえるよう、働き掛けていきたい。 ○かみこあに太鼓フェス２０２５ 青年層が活躍している太鼓団体の鼓響が中心となって、県内各地から９団体の太鼓団体を招集し、昨年に引き続き盛大に開催することができた。 ○公民館事業でのボランティアの募集 ミニかまくらづくりボランティアに秋田北鷹高校生２名の協力があった。村外在住の生徒のため最初は戸惑いもあったようだが、作業や雪遊びを通して子どもたちとも打ち解け、サポートも積極的に行ってくれた。		

評価委員の意見・評価等	太鼓フェスの継続は大いに評価できる。これが毎年の行事となり、村に賑わいをもたらしてくれることを望む。 公民館事業へのボランティア募集はぜひ継続していただきたい。『青年成人層の活動参加』の窓口となることを期待している。		
活動内容－３	主体的な活動を目指すかみこあに大学の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	○かみこあに大学 ・５月　開講式、交通安全秋田弁川柳 ・６月　社会科見学～くまくま園～ ・７月　メタバース×キンビ体験（秋田県出前講座） ・８月　小学生と交流～金魚のモビールづくり～ ・９月　中学生と交流～特殊詐欺防止教室、ザ・しゃべり場～ ・１０月　修学旅行（秋田市）～旧松倉家住宅、ねぶり流し館～ ・１２月　保育園訪問　もちつき会見学 ・１月　新年書き初め教室 ・２月　中学校３年生訪問　交流と行事のお手伝い ・３月　修了式、１年の振り返り 毎月１５人ほどが参加している。恒例の書き初めやものづくりのみならず、保育園児や小中学生と交流したり、時には村外での社会科見学をしたりと、バラエティーに富んだ内容で楽しく活動できた一年であった。随時、新たな入学生を募集し、様々な方へ学習機会を提供したい。		
評価委員の意見・評価等	楽しみと学習、世代間交流等がバランスよく実施されており、大いに評価できる。		

（事業名）生涯学習推進体制の充実

活動内容－１	学習成果を生かす場の提供	達成度	A
点検・評価（課題等）	○各発表会等の開催（芸能まつり・学習発表会）、作品展示 過去２年、豪雨災害で中止となっていた芸能まつりが３年ぶりに開催された。村内団体を中心に舞踊や歌等の発表が行われ、久しぶりの芸能まつりを出演者、観客とも大いに楽しみ、盛り上がった。 昨年度に引き続き生涯学習週間と産業祭を合同で行い、上小阿仁村産業・文化祭として盛大に開催された。 学習発表会は、各団体が日頃から練習に励んだ成果を発表することができた。多くの来場者が、各団体の発表を楽しんでくれたようであった。 生涯学習週間の作品は、豊富なジャンルの作品が出品され、子どもから大人までの生涯学習の成果を館内の至るところに展示した。		

評価委員の意見・評価等	芸能まつりが復活したことは、それぞれの学習グループにとっても、楽しみにしていた村民にとっても非常に喜ばしい出来事である。 各種発表会が盛大に開催できたことは大いに評価できる。		
活動内容－２	各種委員の活動の充実 （社会教育委員・生涯学習奨励員・各種部会等）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○芸能公演部会による自主事業 かみこあに太鼓フェス２０２５及び民謡歌謡ショーを開催した。芸能まつり、学習発表会の運営を行った。 ○文芸美術部会による作品展示 部会が中心となって学習週間の作品展示を行った。 ○郷土資料部会、文芸美術部会、図書館協議会の合同研修 大仙市の埋蔵文化センター、はなび・アム、旧本郷家住宅を見学した。 ○社会教育委員による事業評価 当年の事業について社会教育委員会に報告し、評価いただいた。 ○生涯学習奨励員 北秋田市と合同での研修会や、子どもを対象にしたサポート事業を実施している。		
評価委員の意見・評価等	各種委員がそれぞれの分野で活躍されていることに深く敬意を表し、その活動を高く評価する。		

（事業名）読書活動の支援

活動内容	読書の推進や読み聞かせの機会充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	○乳幼児検診におけるブックスタート事業 ２月の乳児検診の際に、３世帯に実施。親子での読み聞かせの大切さと図書館の活用を呼び掛けた。 ○図書館イベント（月１回） 司書によるおはなし会の開催 ○テーマ展示 テーマごとに関連する書籍を設置し、季節や話題の本等、来館者に興味をもってもらえるよう工夫している。 ○古本リサイクルコーナーの設置 閲覧年数を超えた雑誌等の有効活用を図るため、図書館内にリサイクルコーナーを設置し､来館者が自由に持ち帰ることができるようにしている。 ○図書館ボランティアによる読み聞かせ		

	図書館ボランティアが保育園や放課後児童クラブに出向き、月１回読み聞かせを行っている。 ○村人バトンコーナー 村民がおすすめの本を紹介する村人バトンコーナーを、村広報誌と図書館内のコーナー展示で紹介している。８月、１１月、２月の３回掲載。
評価委員の意見・評価等	子どもたちの健やかな成長をサポートする「読み聞かせの機会充実」という点は高く評価できる。

（事業名）人材の発掘と積極的な活用

活動内容－１	豊かな知識や技術、体験、特技を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価（課題等）	○村内外の豊富な知識や経験を有する方を講師に依頼 ヨガ講座（２回）、こけ玉づくり講座、重曹アート体験、絵手紙講座、クリスマス飾りづくり講座、デコレーションマフィンづくり体験等、今年度も様々な講座を専門的な知識や経験の豊富な方に講師を依頼して開催し、参加者から好評であった。 山岳経験豊富な山岳会の皆さんに対して、村民登山における登山者のサポートを依頼し、行事を無事に遂行することができた。 ○毎月開催の定期講座を開始 今年度から、英会話講座とスマホ講座を月１回ペースで開催。１回だけでは理解が難しい内容を、定期的に学習することで参加者の知識を高める。４月の開催から通して参加してくださる方が多く、好評である。		
評価委員の意見・評価等	適切な講師を確保することにより、多種多様な学習講座を企画し、受講者に好評であったことは評価に値する。 参加者からは継続を願う声が聞こえており、今後も更なる充実を期待する。		
活動内容－２	新たな地域人材の発掘と活用（学校支援ボランティア等）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○講座等の様々な機会に情報収集 講座参加者から、技術や特技をもった方を紹介していただく。学びたい人のニーズと教えたい人の熱意を生かした講座開催に努めたい。 ○学校支援ボランティア 地域学校協働本部事業を継続しており、地域コーディネーターが地域のボランティアと学校を繋いでいる。今年度も多くの方に学校支援ボランテ		

	ィアとしてご協力をいただくことができた。今後も、学校と地域の繋がりをより一層深めるようにしていきたい。 ○ボランティアとして活動できる方の公募 広報３月号でボランティアの公募を行うことができた。ボランティアの活動内容を理解してもらい、住民の方に参加したいと考えてもらえるように、今後も広く周知していきたい。
評価委員の意見・評価等	学校支援ボランティアの働きは、児童生徒や教員への効果が高いと思われるため、継続できるよう努めてもらいたい。

（事業名）地域と学校の連携強化

活動内容	世代間交流事業の推進 地域団体との交流活動（婦人会・老人クラブ・企業等）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○かみこあに大学「金魚のモビールづくり」 高齢者と小学生が金魚のモビールづくりを通して交流した。 工作終了後は会食を行い、交流を深めた。 ○かみこあに大学「特殊詐欺防止教室」「交流と行事のお手伝い」 ９月に生涯学習センターにて、中学３年生が講師となり特殊詐欺防止教室を開催し、高齢者と昔の学校の話等もして交流した。 ２月にはかみこあに大学生が学校を訪問し、中学３年生と一緒にお花紙を作成した。その後、校内を回り授業の様子を見学した。最後に一緒に給食を食べて交流した。 ○各行事による世代間交流 各行事は全世代が交流できる場となっている。 特にスポーツ少年団の総合交歓会では、子どもたちとグラウンドゴルフ愛好会がペアでプレーし、大変盛り上がる行事となっている。		
評価委員の意見・評価等	かみこあに大学と児童生徒との世代間交流は長年にわたり継続されており、交流の場の創出として高く評価できる。		

（事業名）地域課題に対応した学習機会の充実

活動内容	住民ニーズの把握と教室・講座の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	○地域課題や学習ニーズの把握 ○他地域での講座等の調査		

	普段の講座参加者等から、どのような講座だったらまた参加してみたいかということについて、聞き取りを行っている。 他の地域のホームページや広報誌を見て、参考にしている。 今年度も村外の講師にもお願いしながら、ヨガ講座やこけ玉づくり等、住民に興味をもってもらえるような新しい分野の講座を開設し、参加者にも好評であった。
評価委員の意見・評価等	企画内容が充実しており、参加者の好評を得ていることから、住民ニーズをよく理解していたことがうかがわれ、評価に値する。

（事業名）伝統文化・伝統芸能の継承

活動内容－１	公民館・地域・学校等の連携による郷土芸能継承活動の充実	達成度	A
点検・評価（課題等）	小中学校で､村内の２つの伝統芸能を学ぶ活動をして継承に励んでいる。 小学生のうちから郷土芸能に関わることが郷土愛の醸成に繋がるため、保存会や有志の方に協力いただきながら、今後も実施していきたい。		
評価委員の意見・評価等	村独自、各集落独自の地域文化、地域芸能を保存、継承できるよう、一層の努力をお願いしたい。		
活動内容－２	郷土資料・文化財の保管、活用の充実、情報の発信	達成度	A
点検・評価（課題等）	○郷土資料室の整備、利活用 郷土資料室を訪れた人が、本村の歴史や遺跡、民俗について理解を深めることができるよう、郷土資料部会員によって適宜整備されている。 また、小学生が郷土学習の授業で郷土資料室を見学した際や、武蔵野大学の学生がフィールドスタディーズの一環で見学した際には、郷土資料部会員が、昔の道具や暮らしについて説明・解説を行っている。		
評価委員の意見・評価等	多種雑多な民具､古文書を整理している郷土資料部会員に敬意を表する。限られたスペースでの資料、民具の展示ではあるが、より充実したものとなるよう期待する。		

（事業名）生涯スポーツ等による健康づくり

活動内容－１	スポーツ団体等の育成・支援	達成度	A
点検・評価（課題等）	○スポーツ少年団への助成（指導者経費） スポーツ少年団指導者負担を軽減させるため、助成金を支給し支援をしている。 野球やバスケットボール等、団員の減少によりチーム競技自体が難しくなってきているが、指導者経費の助成を行い、引き続き支援していく。 ○スポーツ協会への補助 スポーツ協会への補助金により支援をしている。 高齢化により各単協の会員が減少傾向にあるが、村民の運動機会の確保及び提供のため、引き続き支援していく。		
評価委員の意見・評価等	それぞれへの助成はぜひ継続していただきたい。		
活動内容－２	各種社会体育関連行事の開催（総合型スポーツクラブ）	達成度	A
点検・評価（課題等）	○村民登山 大雨災害の影響により太平山の登山道が封鎖されているため、森吉山登山を行い、参加者・山岳会・事務局あわせて３９名が登頂した。 ○バレーボール大会 青年チームや高齢者のチーム等、あわせて４チームが競い合った。 ○お盆野球大会 お盆恒例行事の野球大会は、今年度２チームが参加し、一進一退の熱戦となった。 ○綱引き大会 一般の部で２チームが、小中学生の部で４チームが、白熱した戦いを繰り広げた。 ○秋のスポーツデー グラウンドゴルフ大会及びウオーキングを実施し、参加者、スタッフあわせて５７人が、秋空の下、爽やかな汗を流した。 ○総合型クラブスマイルの活動 年間を通じて、グラウンドゴルフ、卓球を中心に、様々な種目のスポーツ活動が取り入れられ、村社会体育事業の中心的役割を果たしている。		
評価委員の意見・評価等	総合型地域スポーツクラブスマイルとの共催により、社会体育関連各種事業が無事開催されたことは高く評価できる。今後もスポーツクラブスマイルとの連携を密に村民の健康増進に努めていただきたい。		

令和７年度　公民館関係行事一覧

区分	開催日	行事名	参加人数	内　容
【生涯学習諸行事】	令和7年7月20日	かみこあに芸能まつり	206	第25回かみこあに芸能まつり
	令和7年8月14日	成人式	10	対象：平成16年度生11名
	令和7年10月11～19日	生涯学習週間　作品展示	132	一般学習者、保育園児、小中学生の作品展示（作品数　416）
	令和7年10月19日	学習発表会	350	保育園児・小中学生・一般の学習発表、文化・スポーツ賞・産業祭表彰、講演会
	令和7年10月24日	親子映画鑑賞会	75	映画上映「映画ドラえもん のび太の絵世界物語」
	令和7年11月9日	かみこあに民謡舞踊ショー	202	民謡舞踊ショー　佐々木深里さん、大沢栄子さん、山本洋子さん、秋田おばこ会
	令和7年11月29日	陸上自衛隊第9音楽隊演奏会	400	陸上自衛隊第9音楽隊による演奏会（中学校吹奏楽部も出演）
	令和7年12月7日	かみこあに太鼓フェス2025	350	太鼓フェス　県内各地の10団体
【社会体育諸行事】	令和7年5月1日	グラウンドゴルフ交流大会	7	第10回スマイル杯　第1例会　総合型クラブ事業
	令和7年6月10日	卓球交流大会	37	第20回スマイル杯　総合型クラブ事業
	令和7年6月20日	バレーボール大会	40	第46回バレーボール大会
	令和7年6月8日	第54回村民登山	39	森吉山登山
	令和7年6月5日	グラウンドゴルフ交流大会	9	第10回スマイル杯　第2例会　総合型クラブ事業
	令和7年7月3日	グラウンドゴルフ交流大会	11	第10回スマイル杯　第3例会　総合型クラブ事業
	令和7年7月29日	ナイターソフトボール交流大会	32	第21回ナイターソフトボール交流会　2チーム参加　総合型クラブ事業
	令和7年8月28日	３×３バスケ交流大会	11	第11回スマイル杯　３×３バスケ交流大会「夏の陣」　総合型クラブ事業
	令和7年8月18日	お盆野球大会	40	お盆野球大会　2チーム参加
	令和7年8月21日	グラウンドゴルフ交流大会	10	第10回スマイル杯　第4例会　総合型クラブ事業
	令和8年10月13日	秋のスポーツデー	57	ウォーキング、グラウンドゴルフ大会、モルック体験
	令和7年9月25日	グラウンドゴルフ交流大会	9	第10回スマイル杯　第5例会　総合型クラブ事業
	令和7年11月11日	卓球交流大会	37	第19回会長杯　総合型クラブ事業
	令和7年11月21日	上小阿仁村綱引大会	50	第38回上小阿仁村綱引大会
	令和7年12月3日	みんなでジャンプ交流大会	28	第19回みんなでジャンプ交流大会　総合型クラブ事業
	令和8年2月10日	バスケットボール交流大会	23	第12回バスケットボール交流大会「冬の陣」フリースロー戦の巻　総合型クラブ事業
【かみこあに大学】	令和7年5月15日	かみこあに大学【5月】	10	開講式、交通安全秋田弁川柳
	令和7年6月12日	かみこあに大学【6月】	10	社会科見学（くまくま園見学）
	令和7年7月17日	かみこあに大学【7月】	11	メタバース×キンビ体験（秋田県庁出前講座）
	令和7年8月7日	かみこあに大学【8月】	20	小学生と交流　金魚のモビールづくり
	令和7年9月25日	かみこあに大学【9月】	10	中学生と交流　特殊詐欺防止教室、ザ・しゃべり場
	令和7年10月23日	かみこあに大学【10月】	12	修学旅行（旧松倉家住宅、ねぶり流し館）
	令和7年12月25日	かみこあに大学【12月】	11	保育園訪問　もちつき会見学
	令和8年1月17日	かみこあに大学【1月】	15	新年の書き初め（山田亜希子氏）
	令和8年2月12日	かみこあに大学【2月】	10	中学校３年生訪問　交流と行事のお手伝い
	令和0年3月	かみこあに大学【3月】	11	修了式ほか
【公民館事業】	令和7年4月19日	公民館講座　春のおためしヨガ講座	15	おためしヨガ体験（103Yoga道場　ナナディアン氏）
	令和7年6月21日	公民館講座　コケ玉づくり体験	13	コケ玉づくり体験（佐藤恵子氏）
	令和7年7月31～8月1日	公民館講座　かみこあに防災子どもキャンプ	中止	防災を学びながらキャンプ体験（わんパークおおだて　ほか）
	令和7年8月20日	公民館講座　重曹アート体験	4	重曹アート体験（加藤藤子氏）
	令和7年9月20日	公民館講座　ヨガ講座	12	ヨガ体験（103Yoga道場　ナナディアン氏）※R7年度2回目
	令和7年10月6日	公民館講座　絵手紙講座	8	絵手紙づくり（遠藤康子氏）
	令和7年12月13日	公民館講座　クリスマス飾りづくり講座	10	クリスマスリースづくり（小林久子氏）
	令和8年1月31日	公民館講座　デコレーションフィンづくり体験	4	マフィンデコレーションの体験（中宮多香子氏）
	令和8年2月14日	ミニかまくらづくり	35	ミニかまくらづくり
	令和7年4月22日	英会話講座 【月１回の定期講座】	7	初心者向けの英会話講座
	令和7年5月20日		7	
	令和7年6月17日		4	
	令和7年7月15日		6	
	令和7年8月19日		8	
	令和7年9月16日		6	
	令和7年10月21日		6	
	令和7年11月18日		6	
	令和7年12月16日		6	
	令和8年1月20日		中止	
	令和8年2月17日		5	
	令和8年3月17日		5	
	令和7年4月23日	スマホ・パソコンなんでも相談会 【月１回の定期講座】	7	スマホの様々な使い方を学ぶ （パソコンを学びたい方は事前相談）
	令和7年5月21日		7	
	令和7年6月18日		7	
	令和7年7月16日		6	
	令和7年8月20日		6	
	令和7年9月17日		8	
	令和7年10月15日		5	
	令和7年11月19日		4	
	令和7年12月17日		5	
	令和8年1月21日		5	
	令和8年2月18日		5	
	令和8年3月17日		5	